

【指導上の留意点】 3ステップ 高校生の就職面接対策
①キャリアデザインと履歴書 小論文と作文の書き方

導入時の説明内容

本日の映像教材の視聴では、就職面接での履歴書・作文の書き方を学習する。
就職試験の作文問題では、学科のように知識を問うのではなく、人柄など人物を見るために実施される。
映像教材を視聴するときの視点（ポイント）を学習した後に視聴する。
視聴後は、簡単なワークシートでどれだけ理解できたかを判定するので、真剣に視聴させる。

視聴のポイント

1. 履歴書（エントリーシート）を書くポイントを学習する

面接官は履歴書に書かれている内容について質問をするので、履歴書の書き方を理解しておくことはとても重要。履歴書を書くためには、志望動機を明確にしておくことが大切。志望動機は十分に自己分析を行い、自分の得意なこと、やりたいこと、将来設計を立てること。即ち、将来を見据えたキャリアデザインの考えを理解させることである。

2. ここでは、作文試験について学ぶ

(1) 作文を書くルール

- ・原稿用紙では、1マス1字で丁寧に書く。
- ・略字は使わない。
- ・書き出し、段落の頭は、1マス空ける。
- ・誤字脱字に気をつける。
- ・「です・ます」調と「である」調を混ぜない。

(2) 作文の書き方

- ・作文の構成は、序論(1.5割)、本論(7割)、結論(1.5割)を目途にする。
- ・構想をしっかり練る。
書きたいこと（テーマ）を決め、序論・本論・結論に書くべきキーワードをメモし、配列などを考える(構想を練る)。
- ・作文のポイント。
序論では、課題を把握する。
本論では、その課題(テーマ)についての自分の経験（エピソード）などから自分の考えや感じたことを述べる。
結論では、入社できたらその経験を生かしていきたいと結ぶ。
- ・体験（エピソード）を挿入することで、訴える力・迫力が増加する。